

1. 認定日本語教育機関の設置者情報

所在地：千葉県松戸市新松戸4-2-1

設置者：学校法人朝日学園

代表者：理事長 湯澤 大介

2. 認定日本語機関の情報（令和7年10月1日現在）

機関名：東京明生日本語学院（各種学校）

所在地：東京都墨田区緑1-2-10

学校長：北 琢磨

設置コース：進学2年コース（1部、2部）

進学1年9か月コース（2部）

進学1年6か月コース（1部、2部）

定員：認定日本語教育課程 320 名

実員：認定日本語教育課程 263 名

職員数：教員 34 名（本務 10 名） 職員 5 名（本務 4 名）

3. 授業の内容

授業科目名	内 容	授業時数		
		進学2年 コース	進学 1年9か月 コース	進学 1年6か月 コース
総合日本語	初級は「できる日本語／いそどろ生活の日本語」中級以降は「タスクベースで学ぶ日本語」を使い、各技能を総合的に伸ばす授業を行う。全コースのほぼ全学期にまたがって実施する科目で、当校の中心的な授業となる。	806	740	640
文字語彙	最初期にはひらがなカタカナを、初級から上級に渡り、漢字と語彙を習得する。留學生活に支障のないよう十分な文字・語彙を知り、理解し、使いこなせるように段階を踏む。	194	156	156
文法	初級段階では「総合日本語」で学ぶが、中級以降は細かな差異に気付き、使いこなすための文作成をアウトプット中心の授業を行う。	124	106	86

日本事情・文化	初級段階ではオリエンテーション、学校行事や「総合日本語」科目において日本事情・文化を知ることから始める。B1以降では科目として扱い、留学生に必要な進路、日常的に必要な日本事情・文化、また多国籍クラスであることを利とした異文化交流から始まる多文化共生も本授業で扱う。	62	53	43
聴解	日常的に使う表現を聞き取り、正しい行動・理解を選択することができることを目指す。また文法・語彙表現により元の意味から離れた意図を感じ取り、イントネーションに込められたニュアンスを理解することができるようになる授業を実施する。	124	106	86
読解	身近な話題や、日常生活で目にするポスター、掲示版から、必要な情報を抜き出す能力を引き出せるよう練習する。中上級では進学に必要な書類を読み込めるよう訓練を行う。	124	106	86
発話	教師や他の学生との交流が日本語でできるように端的な発話ができるよう練習し、中級ではある程度まとまったやり取りや発表ができるようテーマの理解と、話の順序など確認しながら練習する。	24	0	0
記述	ディクテーションで聴解力を鍛えつつ、自分の意思を端的な一文であっても書けるようにする。また SNS を用いた実態に合った記述練習を行う。中上級段階では進学に必要な書類や小論文などが書けるよう実践的な授業を実施する。	62	53	43
合計		1520	1340	1140